

# 身体拘束の実施割合について

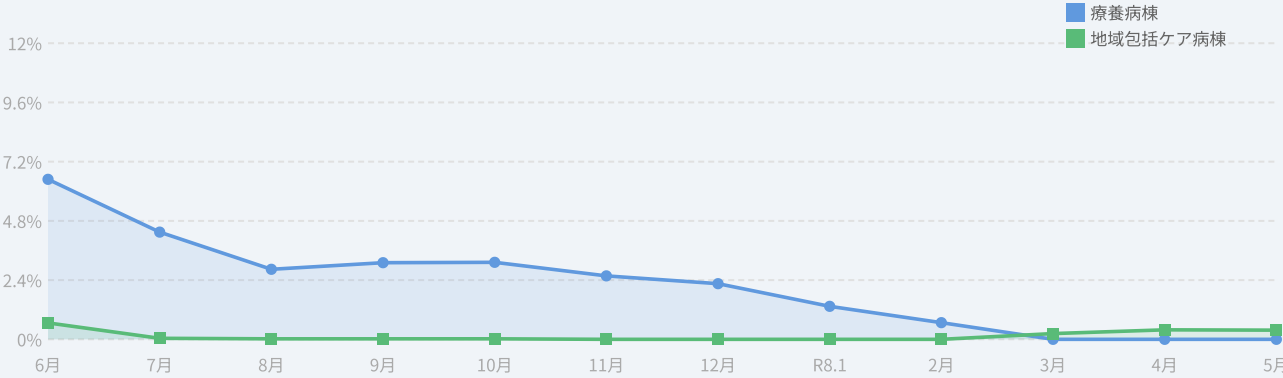
R7.6月～R8.5月 | 療養病棟・地域包括ケア病棟

当院では、患者様の尊厳と安全を最優先に考え、身体拘束の廃止に向けた取り組みを継続しています。やむを得ず実施する場合も「切迫性・非代替性・一時性」の3要件を満たす場合に限り、最小限の範囲で行います。実施状況は毎月集計し、院内外に公表します。

| 療養病棟      |             |
|-----------|-------------|
| 直近月の割合    | 直近3ヶ月平均     |
| <b>0%</b> | <b>0.0%</b> |
| 5月        | 3月～5月       |

| 地域包括ケア病棟  |             |
|-----------|-------------|
| 直近月の割合    | 直近3ヶ月平均     |
| <b>0%</b> | <b>0.4%</b> |
| 5月        | 3月～5月       |

## 月別・身体拘束実施割合の推移



## 拘束日数の月別比較 (実日数)



※ 身体拘束実施割合 = 拘束日数 ÷ 入院料算定日数 (直近3ヶ月の平均値を表示)  
 ※ 算定基準：令和7年度診療報酬改定に基づき、身体拘束実施割合が0.5%未満を目標としています。